



R I 会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 千葉 正徳

クラブ研修委員会

館山RC 川名 光俊

環境委員会

館山RC 吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 一憲

幹事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

12月17日(金)のプログラム

- ・ 水中考古学者 井上たかひこ氏
「勝浦沖に眠る ハーマン号調査」

12月24日(金)のプログラム

- ・ 夜間家族例会および
新入会員歓迎会

本日(1/7)のプログラム

- ・ 夜間例会(賀詞交換会)

今後の例会プログラム

- ・ 1/14(金)鴨川RC海外派遣高校生
- ・ 1/21(金)東レ顧問 横山氏
- ・ 1/28(金)会員卓話

謹賀新年

2011.1.1 am 6:45



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

(初日の出撮影:関正巳会員 一ノ宮海岸にて)

会長挨拶 関一憲会長

12月17日(金曜日)

先週の年次総会では、皆様の慎重審議ありがとうございました。次年度もいよいよ動き出してきました。うまくバトンを渡したいと思います。



本日はものの見方や常識、固定観念についてお話ししたいと思います。日本と韓国の常識の違いでは、たとえば日本では脱いだ履物は揃えておくことがマナーですが、韓国ではお客様の履物を揃えることは、「早く帰って!」というメッセージだそうです。そのほか食事のとき日本人はお茶碗やお椀を左手に持ち食事をすることが良いマナーですが、韓国ではそれはもっとも儀儀が悪いことだそうです。お皿はテーブルに置いたままスプーンまたはお箸で食事をすることが正しいマナーです。また、お客様に割り箸を出し、自分たちが普段使っているお箸を使う場合韓国人は差別されていると感じるようです。食事をするときに音を「クチャクチャ」させることは、その食事がおいしいという表現とも言われます。日本人から見ると素敵な女性が「犬食い」しながら「クチャクチャ」音を立てながら食事をしているのを見ると、ちょっと考えてしまうかも知れませんが・・・

場所や時代が違わずいぶん常識が違いますね。つまり、相手をそのまま受け入れるということが大切ですね。

出来が悪い会長だとは思いますが、皆様にありのまま肯定的に受け入れていただきたいと思います。願っております。

幹事報告 中村満幹事



館山ロータリークラブから訃報が届いています。勝浦RCからは甲電と花輪を出しました。合掌大多喜ロータリークラブから例会変更のお知らせがきています。

成田RCから50周年記念ゴルフ大会の案内

臨時理事会

退会者3名の承認の件および新会員1名の承認の件

委員会報告

職業奉仕 水野敬泰委員長

1月27日(木)10:30~12:30 漆原会員のブルーベリーヒルで、興津小学校の5~6年生を対象に料理教室を開きます。当日は児童をバスで迎えに行き、醸造のお話を君塚会員にいただく予定になっています。当日時間の都合がつく方は、どうぞいらしてください。

クラブ奉仕 古川範男 担当理事

前年度の国際奉仕からの流れで、ネパール支援について...勝浦RCを集める設備を利用してお湯を沸かしたり、理科の実験に利用したりでくれている様子(写真)が送られてきました。



ニコニコBOX 親睦委員会(中村昇委員長)

本人誕生日

前田安彦 君 牧野利美 君 漆原摂子 君



結婚記念日

小島幸雄 君 前田安彦 君



ゲスト卓話

水中考古学者 井上たかひこ氏



勝浦沖に沈む黒船ハーマン号を12年間調査している井上氏は、講演活動や執筆活動を通じて多くの支持を得て、水中考古学者として学界では有名な方で、調査のため、たびたび勝浦にいらっやしているそうです。

1869年4月22日付のニューヨークタイムスには、船長ニューエリの手記によるもので遭難時の模様が生々しく綴られています。「2月13日の朝でした。わたしは、船が江戸から横浜へ戻ると即座に、つぎの出港命令を出しました。すぐに350人の乗客と80人の乗組員が次々と乗船を開始しました。前日からの南西からの強風は、やがて北東に変わり、気圧計は、天気回復の兆しを示しています。出航!! わたしは、大声で合図の号令をかけました。ちょうど正午に横浜港を出帆したハーマン号は、浦賀水道に向かって進みました。同船した日本人の水先案内人が、付近には、暗礁があると船長に告げました。その暗礁の存在は、海図上にも示されていなかったのです。その晩は、極端にもやのかかった暗い海で、視界も最悪でした。相模岬をかわすと、2月13日の夜9時頃、船は100マイルほど沿岸を下った海域で、岩礁に乗り上げました。霧がとてつもなく深い夜の惨事でした...」井上たかひこ著「水中考古学への招待」

函館に向かう途中、川津1.2km沖合いで座礁したハーマン号。22人が亡くなりました。川津港の近くのお寺に、今でも錨巻き上げ機が保管され、官軍塚には亡くなった方々が葬られています。水深10m程度で、透明度が高いときは良く見えるそうですが、川津はカジメが非常に繁茂していて1年経つとジャングルになってしまうそうです。調査には困難がたくさんありますし、莫大な費用もかかる。しかしその時代の外国文化を知るためにも、さらに調査を続けていきたいと、決意を語っていらっやいました。みなさん、ご協力を!!!

出席報告 12/17(金)出席委員会(関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
43名	32名	3名	8名	81.40%

欠席者：浅野玄航 高橋奈緒美 田中智 西川佳璋
村石愛二 吉野裕子 渡辺保 内田秀実

2010.12.24 (金) 夜間例会・クリスマス家族会



会長挨拶 関一憲会長

今日はクリスマスイブ当日ですね。多くの皆様（ALT講師・留学生・マスコミ関係含む）のご参加ありがとうございます。皆様とパーティーを開けることはとてもラッキーなことです。昨日織田ガバナーより「勝浦ロータリークラブは県内でも有数の素敵なクラブです。おそらく日本中でも指折りの素晴らしいクラブだと思います。他のロータリークラブのモデルとして、活躍下さい」と大変なお褒めの言葉をいただきました。私が思うには、会員の皆さんが「優しさ」と「思いやり」に溢れているからだと思います。そして、会員の皆さんが誇りある活動をのびのびと出来るのは、日ごろご家族の皆様を支えていただいているからに他なりません。きっと、皆様の家庭も「優しさ」と「思いやり」に溢れているのだと確信しております。そんな素敵な皆様のために感謝の気持ちを、心を込めて、親睦活動委員会の皆様が何度も打ち合わせをして本日の企画をしていただきました。今宵は、「やさしさ」と「笑顔」に包まれた空間と時間を皆様と一緒に共有したいと思います。精一杯お楽しみ下さい。

クリスマスイブの雰囲気盛り上げる
御宿少女合唱団のキャンドルサービス



見事な司会進行役のお二人
石井美香子君 中村昇親睦委員長



乾杯のご挨拶
小島幸雄 君

国際交流として招待した
国際武道大学の留学生5人も



とても楽しんでいた。
その中でマリアさんは
自慢の声を聴かせてくれました。

新入会員として挨拶をした
手塚明宏 君と令夫人

